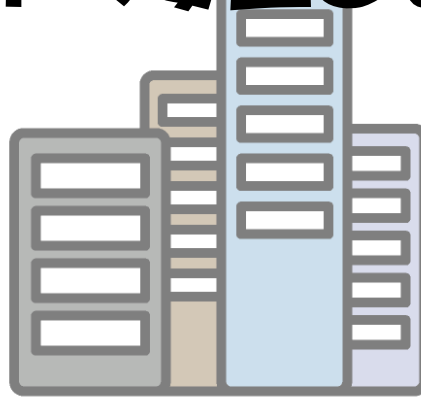


A satellite view of the Earth showing the Pacific Ocean, Asia, and Australia. A large blue oval with a white border is centered over the image, containing the text "Google Earth" in green and "を利用した研究" in white.

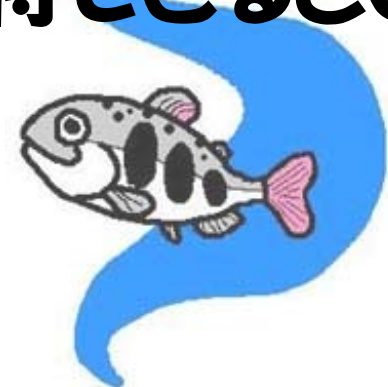
**Google Earth**を利用した研究

# ヒートアイランド現象への影響

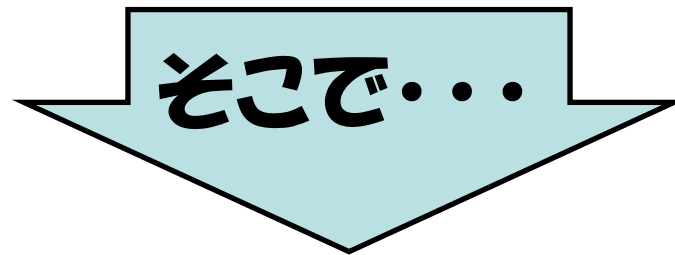
コンクリートや建物は熱吸収率の増加などにより、ヒートアイランドの要因となるといわれています。



逆に森や芝生などの緑地や河や海などはヒートアイランドを抑制する効果を期待できるとされています。



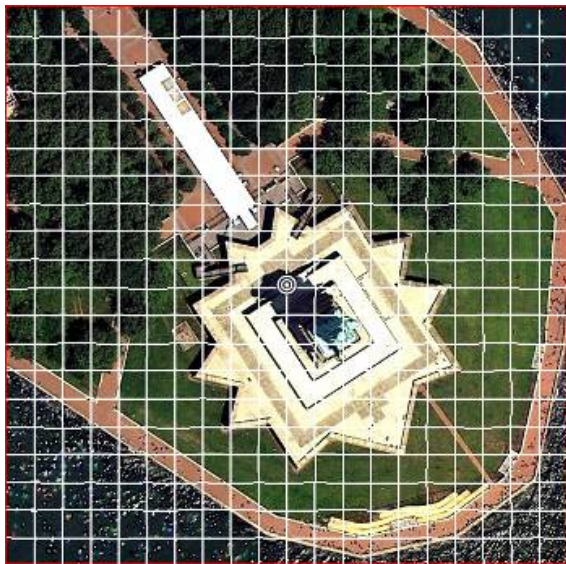
このように、土地がどのように利用されているかを知ることがヒートアイランド現象を研究する上で重要です。



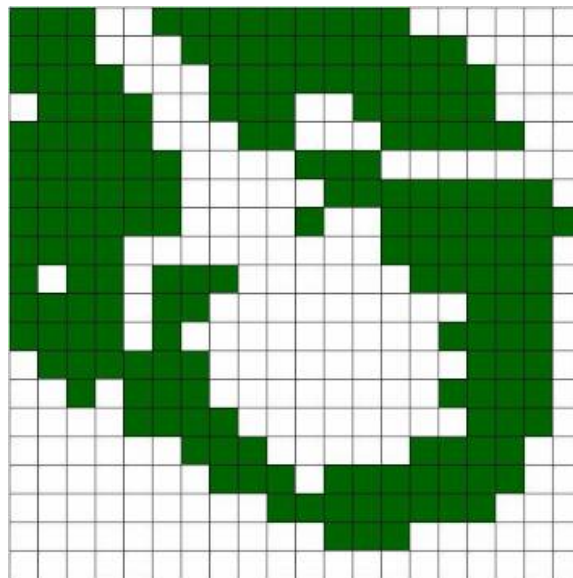
「**Google Earth**」を用いて衛星画像から土地被覆状態を算出し、解析していくことが研究の目的です。

# 「Google Earth」の画像から主に

- **緑被率**(その画像における緑の割合)を判断していきます。



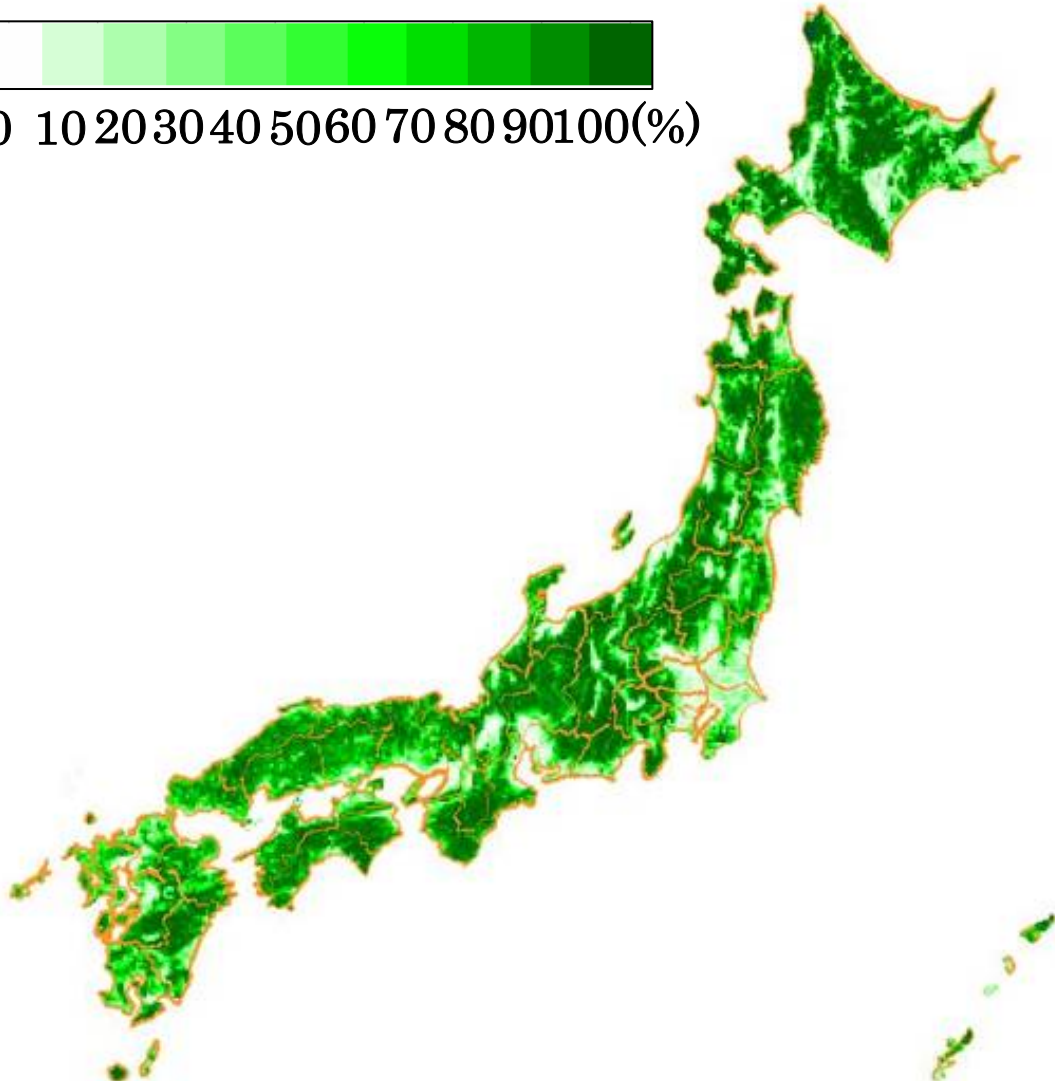
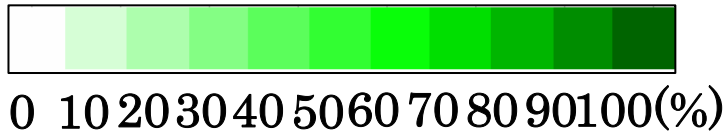
Google Earthの画像



右の画像で緑の部分 = 50%

## ● 研究例1 – 日本列島の緑被率

緑被率を濃淡図(0%が白、100%に行くほど緑が濃くなる)で示します。

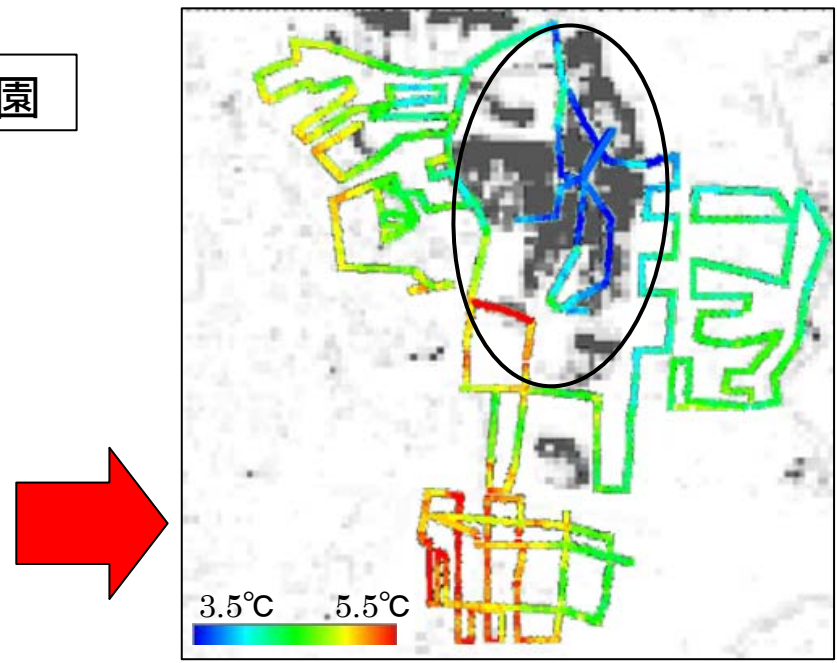
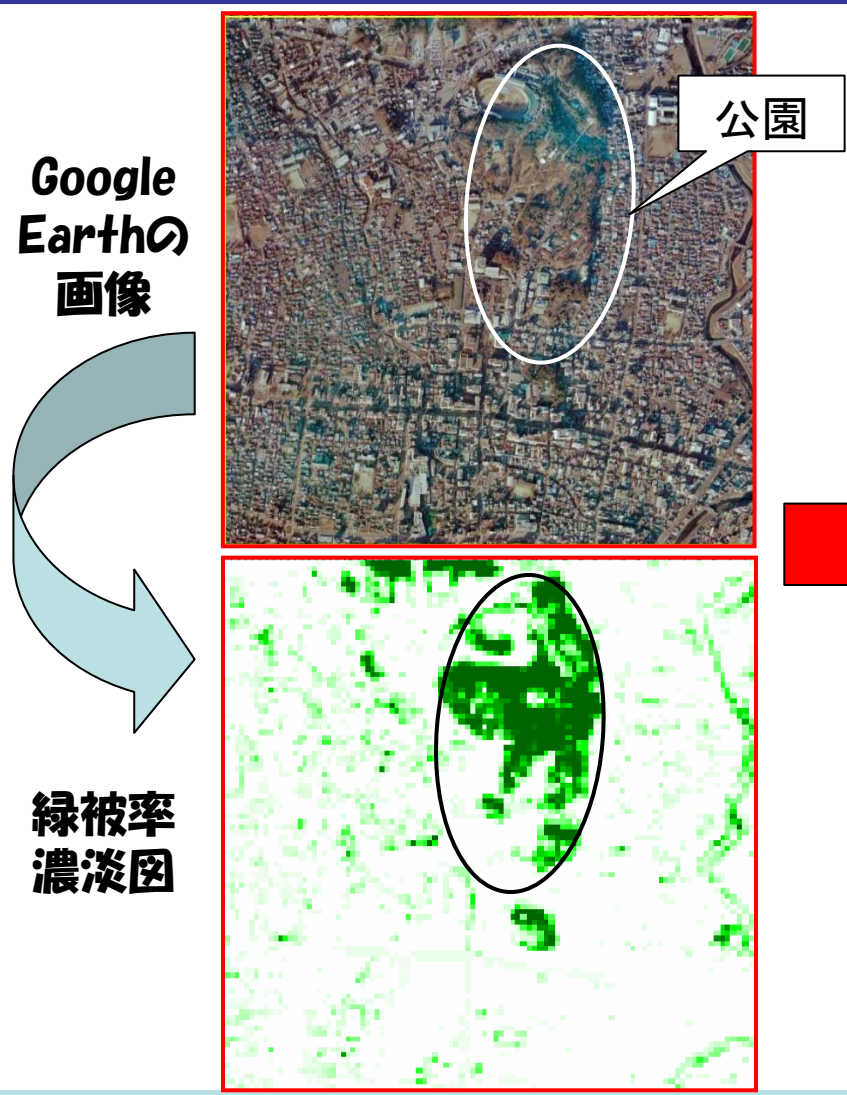


各都道府県の緑被率  
を求めました。

その結果、日本全国  
の緑被率は平均する  
と**67%**(国土の7割  
弱)が緑となっていま  
した。

# ● 研究例2 - 宇都宮市の実測

宇都宮市の八幡山公園周辺の緑被率と気温の相関を実測で調査しました。



冬の夜の気温

公園(緑が集中した場所)の気温は1K程低くなっています。逆に、道路やトンネルなどで気温が高い傾向にあります。